



特集

さいたまゴールド・シアター始動!

まなざし
【NINAGAWA 千の目】

俳優 (財)埼玉県芸術文化振興財団 芸術監督・演出家

藤原竜也 × 蜷川幸雄

INDEX

Saitama Arts Theater Press NO.14 Mar.-Apr.



03 ESSAY

恩田 陸

彩の国シェイクスピア・シリーズ第19弾 『リア王』
リア家の家庭事情を今日的に読めば・・・



04 TOPIC

さいたま ゴールド・シアター

3月稽古場公演『想い出の日本一萬年』レポート
若ぶらない、無理しない余裕!



06 TALK

藤原竜也 × 蛭川幸雄

公開対談 NINAGAWA 千の目 第12回
映画と新作、二つ約束取り付けて・・・



08 PLAY

源氏千年紀

源氏物語の時代が興げる?

09 INFORMATION

便利で楽しい特典のメンバーズ会員。



10 DANCE

コンドルズ

ハズシの面白さであるハズだし?



12 DANCE

「Amjad アムジャッド」 ラ・ラ・ラ・ ヒューマン・ステップス

ロックがロックからクラシックへ超絶技巧!



14 MUSIC

ピアノ・エトワール・ シリーズ2008

コルネリアが弾きたい「武満」日本初披露!



16 MUSIC

井上道義 × 小曾根 真

NHK交響楽団 埼玉会館公演
ショスタコーヴィチの「第9」とガーシュウインの「カデンツァ」

18 EVENT SCHEDULE & TICKET INFORMATION

イベント・カレンダー 2008.3.15-5.31
前売りチケット発売情報(～5.17) 発売中公演情報

23 THEATER BRIDGE

イベント告知、募集など劇場からのご案内

24 Artist Diary 近藤良平

『喜怒哀楽の日々』
近藤さんがいないと、コンド留守?

表紙 さいたまゴールド・シアター「船上のピクニック」2007
PHOTO: 宮川舞子 ILLUSTRATION: 近藤良平・ニノ
編集: 横山善美 デザイン: ATAMATOTE International INDEX コピー: BASON
©(財)埼玉芸術文化振興財団
Published on 15,MARCH 2008 All Rights Reserved by Saitama Arts Foundation



©渡部孝弘

彩の国シェイクスピア・シリーズ第19弾 『リア王』 1月30日公演より

恩田 陸

やっぱり頭金だけではダメなのである。しよせん自分で稼いだ金ではないから、頭を下げる時は大きさに感謝してみせるが、あとは綺麗さっぱり人の金で得たものだとおぼろげに忘れてしまう。私たちの素敵なマンションには、もう私たちの素敵な生活が出来上がっている。お父さん、ひとつしかない来客用の部屋に居座られても困ります。リアは、長女と次女のところに最初から二世帯住宅を造っておくべきであった。どちらにも使用人常駐で、その管理費用が誰から出ているのかはつきりさせておかなければならない。生前贈与もいだけない。存命中には決して名義を書き換えてはならぬ。城が歴史的建造物なら、財団法人にして、維持管理費は基金から出し、簡単に売却なんかされないようにする。

そこで考えるのは、コディリアのことである。彼女は薄々嫌な予感を感じていたのではない。まだ三姉妹の末っ子でベットとして寵愛を受けているうちはよかった。しかし、このままではいくら財産付きといえど、父は自分の世話になるつもりだ。どうする? まだうら若き乙女なのに、あんなガタイのいい強烈な親父とひとつ屋根ですーっと一緒。私の青春はどうなるの? それで、あの冒頭のにもめない発言に繋がるのである。彼女はあの一言に賭けていた。あの台詞の起こす波紋を、じっと観察していた。このごろ父は変だと思っていたが、案の定激怒、忠臣ケントにさえもこの仕打ち。あの瞬間、彼女は父を見限ったのだ。もしかすると、フランス王と打ち合わせができていたのかもしれない。姉二人の計算高く薄情な性格も先刻承知、早晚父を放り出す。しかも大番頭ケントが去れば、国はガタガタ、内乱必須。そこで放逐された老王を救いに行けば、最後には必ず国が手に入るとフランス王を説得していたのである。彼女の計算は完璧だった。しかし、やはり世間知らずのお嬢様、庶子の恨みまでは計算外であった。まさか自分が殺されてしまおうとは予想もしていなかったらう。かくて親も子も死に絶え、不毛のうちに暮は下りる。

子に美田を残さず。昔の人はうまいことをいう。もちろん、シェイクスピアも。かくて、少子高齢化のニッポンの現代の物語として、『リア王』は我々の前に姿を現す。

おんたけりく 1964年生まれ、小説家。1992年、六番の小さな子でデビュー。『木曜組曲 夜のピクニック』など、映像化作品も多い。最新作『40日目の審判』と『2月 新潮社刊』は、2007年の夏に『新潮』でデビュー。『ピクニック』の『クスのために書き下ろした初編』。

さいたまゴールド・シアター 2008年、 稽古場公演で始動!!



「お互い、若ぶって無理するのはやめようね」。
傾斜のきつい舞台装置に出入りするキャストに声をかける
蜷川と、余裕で笑みを返す劇団員たち。ゴールド・シアターの
2008年は、また攻めの姿勢で始まっている。



清水戯曲を壊して、 個人史を映し込むことから

「そう読もうと思えば読めるメタファーがたくさん詰まった本ではある。でも、今回は政治的なものにはしたくない。ある思い出を核にして集まってきた人々ではあるけれど、それぞれの思い出は多層的で、人によって持つ意味が違う——という清水のこの戯曲の構造を使って、みなさん自身の物語＝自己史を語ってほしい。それがメインです。今われわれが抱えている思い出の軌跡を表現することで、この舞台空間が共感され、普遍性が出て豊かなものになればいいと思っています」

ひと通り本読みが終わると、蜷川は全員に向けて、そう上演意図を説明した。もともとこの戯曲は、既成の演劇の枠組みを壊すことを目指して書かれ、初演の舞台には職業俳優ではない人々が多

文＝伊達なつめ（フリーライター）

く参加して、自身について語るくぐりがあった。今回はその部分に、ゴールド・シアターの面々ならではの、豊かな個人史をフィーチャーしようというわけだ。劇団員は、個人史についての作文の提出を義務付けられ（ただし内容は事実でもフィクションでもOK）、それが上演台本に取り込まれて、各自が舞台でその個人史を語るという趣向。作家が書いたせりふの

「まずは全員に機会を与えて、公平を期す。演劇的な理由でキャストティングしている、ということを示すためにね」

と蜷川。とはいえ、ゴールド・シアターの目的は、単なるプロの俳優を育成することにはない。なるべくみんなに出演がま



わるのが肝要なわけで、今回の『思い出の日本一万年』も、その点を考慮して選ばれた戯曲といえる。

死んだ男サ
ブローの父と

2人の息子が、サブローの最期を知る恋人・花子に逢いにやってくる。4人の不毛な会話が続くなか、それを遮るように何人もの人間が入り乱れ、やがて各自が、自分の思い出を語り始める……。'06年の第2回稽古場公演『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』などと同様、若かりし日の蜷川がコンビを組んでいた清水邦夫の初期戯曲（'70年初演）。'70年安保闘争時代を色濃く反映して、内容はかなりアナーキーだ。

く参加して、自身について語るくぐりがあった。今回はその部分に、ゴールド・シアターの面々ならではの、豊かな個人史をフィーチャーしようというわけだ。劇団員は、個人史についての作文の提出を義務付けられ（た



だし内容は事実でもフィクションでもOK）、それが上演台本に取り込まれて、各自が舞台でその個人史を語るという趣向。作家が書いたせりふの一言一句を大事にするタイプの演出家である蜷川にとって、これは戯曲を壊す初めての経験となるそう。若者だったら不安なところだけれど、ゴールド・シアターの俳優たちの自己史だったら、おもしろくないわけがない。初々しさと太々しさが同居したこの劇団ならではの持ち味を、また堪能できる日の来るのが待ち遠しい。

*****PLAY*****

さいたまゴールド・シアター “Pro-cess 3” 思い出の日本一万年

【日時】3月27日(木) 開演 19:00 28日(金) 開演 19:00
29日(土) 開演 13:00 / 18:00
30日(日) 開演 13:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大稽古場

【作】清水邦夫 【演出】蜷川幸雄 【出演】さいたまゴールド・シアター

【チケット(税込)】好評発売中 全席自由 1,500円

第2回本公演が6月に決定!!

昨年の第一回本公演『船上のピクニック』から1年を経て、
臨む本公演には大きな期待がかかる。詳細は次号にて。

公開対談シリーズ第12回

NINAGAWA 千の目

2008年新年早々に颯爽と現れた藤原竜也さんには、実は「熱い決意」があった。俳優として演出家・蜷川幸雄に語る芝居の夢。「身毒丸」の2月アメリカ公演、3月本公演を前にした二人の会話は、大きな期待の光を新春の会場に差し込んだ。

(財)埼玉県芸術文化振興財団 芸術監督・演出家

俳優

蜷川幸雄×藤原竜也

15歳の真っ白の『身毒丸』から10年、そして

蜷川(以下N) どう、ここは久しぶりでしょう。

藤原(以下F) 久しぶりですね。明けましておめでとうございます。

N おめでとう。しょっちゅう一緒にいるように思われるようですが、めったに一緒にいることもなくて、実は二人で話し合うことも割と少ないんです。

ちょっと痩せていますよね。何でそんなに痩せたの？

F これは先週終わりましたが「カメレオン」という映画を撮っていました…。

N さっき「どうしてそんなに痩せたんだ」と聞いたら、「『身毒丸』が始まるから」とまんまと嘘をつきやがって(笑)。

F でも、さっき蜷川さんは「おまえ、もうたらいに入れないうら」と言っていましたからね。

N 15歳で藤原君はロンドンでデビューしました。覚えて？ホテルの前に着いたら、竜也がバスから降りてきて「わあ、ロン

ドンだ、ロンドンだ」と言っていた(笑)。ああ、伸びやかで単純でかわいいなと思っていました。そして、パービカンというロイヤル・シェイクスピア・カンパニーが本拠地になっていた劇場で、彼は初舞台を踏みました。本当に希有な例です。懐かしいね。夢のようだね。

F 僕は今25歳で今年26歳になりますが、最初のこの『身毒丸』という作品と、蜷川さんという演出家と、白石加代子さんという共演者、その三つがなければ今は間違いなく続けてないと思うんです。やっぱり蜷川さんの演出というか思いが自分の中でもすべてでしたから、蜷川さんにその後教えてもらったことも山ほどありますが、『身毒丸』がなかったら僕は俳優として間違いなく間違った方向に進んでいると思う。今ここに立ってられることもないのではないかと感じます。ものすごく大きな出会いだったなと思いますね。今回はアメリカ公演もというもありますし、改めて実は年明けから台本を読み出しましたが、『身毒丸』はすごく楽しみです。

N 僕は昨日『身毒丸』のビデオを見たんだ。「え、こんなことを

「オギャーと生まれて真っ先に見たのは蜷川さんですから、責任をとってくださいよ」(藤原竜也)

やっていたのか、結構複雑な演出をしているな」と思って。僕にとってもあの作品は大きな意味を持っていて、竜也と会ったのもあの作品のオーディションを通してだし、あれから約10年経ってこうやって一緒にステージにいて、いろいろなことをくり抜けたなという感じがするね。

F 僕はいまだに蜷川さんと一緒にいるといっぱい汗をかきます。それぐらい緊張しますよ。蜷川さんは、イギリスとかニューヨークという場所は、大きな違いがありますか。

N イギリスはやっぱり緊張するね。義理のお客さんの反応がないから、即評価が出る。劇評でもそうだよ。

今度の『身毒丸』ワシントン公演というのは、ケネディセンターが呼んでくれる日本の芸術のフェスティバルだけど、プログラミングがすごくいいんです。古典芸能を過大評価することなく、冷静にジャッジしながら現代芸術を紹介してくれるなと思ってね。そこでメインの作品として、『身毒丸』が紹介されるのはすごく嬉しいことです。だから竜也にもいい演技をしてもらって、この作品が優れているということを立証してほしいなと思っているんだよ。

F 頑張ります。実は僕は去年ロンドンに4カ月行かせてもらいました。そこで結構多くのイギリスの演劇の関係者の方々に会わせてもらったんです。「竜也は日本でどういことをやってきたんだ」と聞くので、「僕は蜷川さんとやるが多かった。『ハムレット』や『ロミオとジュリエット』をやった」と言うともみんなが驚いていたんですよ。ある意味イギリスの中での知名度としたら、たけしさんとかよりも蜷川さんの知名度がすごかったですね(笑)。

俳優・藤原竜也語る、「聞いてください、蜷川さん」

F ちょっと話がかわりますが、僕は蜷川さんと映画でも組んでみたいなと思いますが、皆さんどうでしょうか。(拍手) やってこないかなとずっと思っっているのですが。

N 俺はまだ映画監督としては三流だ。もうあと一本ぐらいやると、もう少し良くなるからね。

F でも、新鮮でしたよ。この間蜷川さんの撮った映画(『蛇にピアス』)に出させていただき、深夜のロケでしたが、蜷川さんが僕のとこに来てくれて、「新人監督の蜷川です」と挨拶してくれた。こっちはどうしたらいいかわからないような感じがしましたが、やっぱり緊張していましたか。

N うん、緊張していた。実はゲストで出してもらったんです。もう最高に格好良くて、頭は良く、こういう俳優なのだとわかりました。それからそういう現場で会う竜也は、演劇の現場で会う竜也と全然違います。まずいい子ぶっていない。演技が伸び伸びしている(笑)。つばは吐く、スポンの中に手は入れる、歩き方はひどい、もう田舎のヤンキーのような役です。だけどそのうまさに余りにも

びっくりして、「俺はおまえを違う人として見ていたかな、今ここにいるのは全然違う人だ」と言って、僕は人間に対して結構うぶだということがわかりました(笑)。まんまとだまされていたような気分、そのぐらい良かったです。そう見ると、もう少し俺がいい演出家でないといけないとは思っているけれども、違う竜也をつかまえることができるかもしれないね。

F 近い将来やってください。あと蜷川さんとは芝居の新作でちょっと勝負したいなと思っているのですが、それも考えてくれますか。

N どういうのをやりたいの？

F 僕はもちろんシェイクスピアとかギリシア悲劇はすごく良かったのですが、蜷川さんはいつも一番後ろから本番を見ますよね。そのときに蜷川さんが見ていて驚かされるような、確かにこの時代に僕らは生きていくと思えるような芝居に、僕は参加してみたいという思いがあります。

N ということは、唐十郎とか清水邦夫とかそういう芝居かな。僕らが70年代ぐらいにやっていたような、社会的な動きの真つただ中を走り抜けたみたいな時代の作品のようなものということだね。

F はい、すごくやりたいです。

N それはあり得るかもね。「唐版滝の白糸」をやったでしょう。あれはどう、気に入っていた？

F いまだに明日にでもできるぐらい、すごく好きです。今日は映画と新作と二つ話しました(笑)。本当に今までは実は蜷川さんが竜也はこれをやったから、来年はこれができるというような伝え方をしていたいたっていましたが、最近自分からアクションを仕掛けていかなければ自分自身もだめになると思って。現に若い才能がある俳優はどんどん出ていますから、自分もその中に入っていくためにはしっかりとした意思表示をして、こういう話し合いの中から生まれてくる仕事というのが絶対にしていべきだなと思うようになったんです。

N 確かに日本語の戯曲は違うし、シェイクスピアやギリシア悲劇ともまた文体が違うから、竜也の中にまだ眠っている、まだ使っていない分量が残っているだろうと思う。そういう言葉をしゃべらせたいなと思うな。

何か大勢の人の前で約束させられたと(笑)。今日は、新年早々からありがとう。



photo: 藤原竜也(ふじわら たつや) 1997年『身毒丸』(蜷川幸雄演出)で初舞台を踏む。以後多くの蜷川演出舞台に出演している。また野田秀樹演出『オイル』『ロブ』『グレイヴ・ドール』演出『ヴェニス島の船人』などの舞台や、映画でも活躍しており、金子修介監督『デスノート』は大ヒットを記録した。第38回 紀伊國屋演劇賞 個人賞(2004年)、第3回 朝日舞台芸術賞 寺山修司賞(2004年)、第11回 読売演劇賞 優秀男優賞・杉村春子賞(2004年)など、数々の賞を受賞している。今年も舞台「かもめ」(6月)、映画「カメレオン」(初夏)などが控えている。

源氏 千年紀



©Misaki Toza (1617-1691) Part of the Burke Albums, property of Mary Griggs Burke

源氏物語千年紀を記念して、特別企画『源氏物語の誘惑』を開催いたします。当劇場の好評シリーズ「源氏語り五十四帖」の解説でもおなじみの三田村雅子さんに監修いただき、みなさまを幽玄な源氏物語の世界へお誘いします。

第一部では研究者として名高い原岡文子さんの講演、そして第二部ではその時代の音楽の研究者でもあるスティーヴン・G・ネルソンさんの復元楽器による演奏という、源氏物語を深めるにふさわしいひととき。

新しい源氏物語の扉を開いてみませんか？

特別企画

『源氏物語の誘惑』

文=三田村雅子（フェリス女学院大学教授）

2008年は源氏物語がある程度完成した年から千年目にあたるということで、源氏物語千年を記念する企画・イベントが多数用意されている。この彩の国さいたま芸術劇場で2001年から始められた「源氏語り五十四帖」の企画も、源氏物語が書き始められた1001年秋ごろを意識して、その千年目であることを記念して企画された大企画であったから、「源氏語り五十四帖」の時間は、源氏物語が書き始められた1001年から大半が成立するまでの1008年までの時間とほぼ重なるように、歩みを重ねて7年目を迎えた。宇治十帖の世界がようやく始まるうとするところである。原作の成立も1008年にすべてではなく、宇治十帖の諸巻はそれ以降に残されていたろうと推測されるので、「源氏語り」は源氏物語そのものの執筆のスピードとほぼ等しいテンポで源氏物語を読み進め、読み深めてきたことになる。積み重ねてきた時間の重さによって一種の感慨がある。

この「源氏語り五十四帖」の企画自体が源氏物語千年を記念するものであったことは言うまでもないことなのだが、せっかくの機会なので、ここで番外編として、「源氏物語の誘惑」を企画した。平素の常連のお客さまはもちろん、より広く源氏物語について学びのきっかけを求められる方々、もっと源氏を知りたい、源氏の世界について学びを深めたいと思っという方々にも楽しんでいただける、親しみやすく、新鮮な企画を用意してみた。

彩の国さいたま芸術劇場では過去に、「源氏物語の音楽」「源氏物語を奏でる」の二企画を「源氏語り」として並行して催し、充実した、かけがえのない企画として好評を博してきた。今回は、

現在の源氏物語研究を代表する研究者でいらして、源氏物語の見事な読みと定評のある原岡文子さんにご講演を、休憩時間に源氏物語の時代の香の復元を、後半では源氏物語の時代の箏曲復元を聞いていただく。千年紀の企画は多くあるけれども、これは学問的にも高度、有益で、かつ面白く、楽しめる会になったと確信している。

原岡さんの流れるような美しい解説、源氏物語の読みを誠実に追究されながら演奏してくださるスティーヴン・ネルソンさんの明らかな解説と、すばらしい演奏、そして由緒正しい香のかおりによって、しばし日常の時間を忘れ、源氏物語の世界に浸っていただきたい。



profile: 原岡文子（はらおか ふみこ）
1947年、東京都生まれ。東京女子大学文学部卒業、東京大学大学院人文科学研究科博士課程（国文学）単位取得、博士（文学）、共立女子短期大学助教授を経て、現在、聖心女子大学教授、専攻、日本文学（中古）、著書に『校注源氏物語 若紫』（有精堂87）、「源氏物語 両義の糸」（有精堂91）、「源氏物語 花の五十四帖」（共著 求龍堂2001）、「源氏物語事典」（共著 大和書房02）、「源氏物語の人物と表現 その両義的展開」（翰林書房03）など。



profile: Steven G. Nelson（スティーヴン・G・ネルソン）
1956年、オーストラリア・シドニー生まれ、シドニー大学卒業、同大学院修士課程で音楽史を研究、80年、外来研究留学生として来日、東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了後、85年同博士課程入学。京都府立芸術大学日本伝統音楽研究センター助教授を経て、現在、法政大学文学部教授、専攻は日本音楽史学（特に平安・鎌倉時代）、雅楽・仏教音楽・歌謡に関する研究をテーマとする。自らも雅楽の雅楽、事、地唄三味線を演奏。

●●●●PLAY●●●●

源氏物語千年紀特別企画 「源氏物語の誘惑」

[日時] 6月7日(土) 開演 14:00

[会場] 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

[出演] 原岡文子（聖心女子大学教授）、スティーヴン・G・ネルソン（法政大学教授）
三田村雅子（フェリス女学院大学教授）

[チケット(税込)] 2,000円

[販売日] 一般:3月29日(土) メンバーズ:3月22日(土)

メンバーズ会員になると 便利で楽しい特典がいっぱい!!

舞台芸術を愛してくださる皆様へ、より楽しんでいただくための、彩の国さいたま芸術劇場、埼玉会館、熊谷会館の3館共通のメンバーズ制度。『便利』で『楽しい』メンバーズ特典をご紹介します！既にメンバーズ会員の方も必読です！

ご入会希望の方は、メンバーズ事務局

048-858-5507

Members
privilege
1

たっぷり満足メンバーズ料金

年会費2,000円。財団主催公演で3,000円以上のチケットが10%OFFのメンバーズ料金でご購入いただけます。

Members
privilege
2

だんぜん有利メンバーズ優先予約

一般発売に先駆けて「メンバーズ」優先予約を実施。ご家族やお友達の方もまとめてご購入いただけます。（※チケット代金のご利用限度額は、月額20万円です）さらに人気の公演ではプレオーダーを行います。（※プレオーダーは抽選です）

Members
privilege
3

チケット購入・年会費はキャッシュレス

チケット代金・年会費はご指定の口座から引落。窓口購入、電話予約、インターネット購入はすべてキャッシュレスです。

Members
privilege
4

話題満載の財団情報誌をお届け

財団情報誌「埼玉アーツシアター通信」（隔月発行）をお届け。音楽、舞踊、演劇、映像と各ジャンルの楽しい話題満載、読み応えたっぷりの情報誌です。

Members
privilege
5

こんなに簡単チケット予約方法

電話一本でチケットをご購入いただけます。また、財団ホームページから便利なインターネットチケット購入もご利用いただけます。（※事前にWEB会員登録（無料）が必要です）

Members
privilege
6

使ってお得、ポイント制度

チケットを購入するとポイントがたまります。貯まったポイントはチケットと交換いたします。（※チケット購入金額10円につき1ポイント。1ポイント1円にて換算されます）

Members
privilege
7

安全・安心のセキュリティパックで

ご購入いただいたチケットは安全・安心のセキュリティパック（補償付き）を使い、ご登録のご住所にお送りします。送料は無料です。

Members
privilege
8

その他

他にもお得な特典がいっぱい。公開対談・稽古場見学会のご優待。劇場内レストランでのお食事が2名様まで10%OFFでご利用いただけます。



彩の国シヤイクシピアシリーズ第19弾「リア王」の稽古場見学会の様子。

WEB会員なら「簡単」・「早い」インターネットでチケット購入!

ご存知でしたか？ ホームページからWEB会員（無料）に登録するだけで、ご自宅や外出先のパソコンから、24時間いつでも空席状況が検索でき、チケットを購入することができます。観たい! 聴きたい! と思ったら、すぐにアクセス。ぜひこの機会に便利なインターネットチケット購入に切り替えませんか？

- 時間を気にせずいつでも購入
- キャッシュレスでらくらく購入
- メルマガで公演情報をいち早くキャッチ
- 気になる公演の空席状況をチェック



WEB会員登録は、財団ホームページ

<http://www.saf.or.jp/>

エドゥアール・ロックが切り拓く、 新たなる美の地平

前回の来日公演『アメリカ』から4年。
高速で繰り広げられる超絶技巧を駆使し
身体の極限に挑み続けるエドゥアール・ロックが、
新作『Amjad アムジャッド』のテーマに選んだのは、
何と『白鳥の湖』と『眠れる森の美女』。
クラシック・バレエの大いなるアイコンが、
大胆かつ先鋭に、まったく別次元の美へと変換される。



取材・文=鴨澤章子(フリーライター、ロンドン在住)

大小3つのスクリーンに投影される思わしげなイメージに引き続き、舞台上に男性2人、女性3人のダンサーが現れる。一切、音楽のない静寂の中で、彼らは腕を上下に大きく振り動かし空間の中で揺らめく……。

昨年4月にカナダで初上演されたラ・ラ・ラ・ヒューマンステップスの新作『Amjad アムジャッド』は、その冒頭から観客の意表をつく。それは紛れもない“白鳥”の羽ばたき。と言うのも、同カンパニーの振付家エドゥアール・ロックは、この作品でチャイコフスキーの『白鳥の湖』と『眠れる森の美女』という2つのクラシックバレエのアイコンを取り上げているのだ。かつてラ・ラ・ラ・ヒューマン・ステップスの作品と言えば、激しいロック・ミュージックにのせて、限界に挑戦するかのようにスピード感溢れる超絶技巧を繰り広げることで知られていた。物語性をあえ



て排除することで、肉体の動きそのものを抽象化し、昇華させてきた彼が、なぜ今、この2作品を取り上げるのか。ロックは言う。

「この2作品はたとえバレエを観たことがない人でも知っているでしょう。そこにはなんらかの記憶がある。その記憶が『Amjad』に新たなテンションを与えるのです」

『Amjad』は、2作品のストーリーをなぞらえてはいない。次々と編成を変え展開されるシーンはそれぞれが一編の詩のように美しく抽象化されたイメージなのだが、ここに観る者各々の奥深く眠る“記憶”が重なるとき、ストーリーを超え果てしない広がりを見せるのだ。4人のミュージシャンによるライブ演奏の中、男女9人のダンサーは高速で回転し、空に放たれ、足を突き動かす。そして、女性ダンサーと男性ダンサーがポアントで踊る(!)バ・ド・トゥの美しさ。クラシックをモチーフしているとは言え、ロックの振付けはやはり革新的で過激だ。それでもチャ

イコフスキーをアレンジした音楽に不思議と調和し、あたかもそれが当時のオリジナルであってもおかしくないときさえ感じてしまう。

「ロマンティック・バレエの頃、本当はどんなふうにも踊られていたかなんて、なんの資料も残っていないのです。だから、私の振付けもそう遠いものではないかもしれない。男性ダンサーがポアントで今まで踊らなかつたのだって、そういう訓練を慣例として子供の頃からやってこなかっただけ。してはいけないということはないでしょう?」

いつも軽々と固定概念を打ち破る、エドゥアール・ロック。『Amjad』はその彼が導いた新たなる美の地平だ。



profile

エドゥアール・ロック
/ラ・ラ・ラ・ヒューマン・ステップス

振付家、ダンサー、映像作家であるエドゥアール・ロックは、1954年モロッコのカサブランカに生まれ、カナダ・モントリオールで育つ。大学で中世英文学を学ぶかたわら、19歳でダンスを始め、レ・グラン・バレエ・カナディアン、グループ・ヌーヴェル・エール等に参加。80年にラ・ラ・ラ・ヒューマン・ステップスの前身となったロックダンス・アズを結成。「ヒューマン・セクス」(BS)でベッシー賞を受賞。鋭い感覚と機軸的エッセンスで世界のダンス界に衝撃を与え、以降、世界のダンス・シーンで常に注目の的となった。代表作『アンファント』、『2』、『アメリカ』では世界ツアーを敢行。大きな話題を呼んだ。ラ・ラ・ラ・ヒューマン・ステップスとしての活動に加え、パリ・オペラ座バレエ、NDT、オランダ国立バレエ団への振付け、デヴィッド・ボウイ、フランク・ザッパのコンサートの演出など、その活動は幅広い。

●●●● DANCE ●●●●

ラ・ラ・ラ・ヒューマン・ステップス『Amjad アムジャッド』

[日時] 7月4日(金) 開演 19:30 5日(土) 開演 18:00 6日(日) 開演 16:00

[会場] 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

[演目] 『Amjad アムジャッド』(2017年初演) [振付] エドゥアール・ロック

[音楽] キョウケン・フライヤーズ、デヴィッド・ラング、アレイク・ハルリグス

[出演] ラ・ラ・ラ・ヒューマン・ステップス ダンサー9名

[チケット(税込)] 一般:S席7,000円/A席5,000円・学生A席3,000円 メンバー:S席6,300円/A席4,500円

[販売日] 一般:4月12日(土) メンバー:4月5日(土)

Piano Etoile Series
 “煌めく個性”
 ピアノ・エトワール・
 シリーズ 2008

今年も「未来の巨匠」を予感させる

4人のピアニストが顔を揃えた、
 ピアノ・エトワール・シリーズ。

このシリーズは、彩の国ならではの
 ピアニストが「今一番弾きたい曲」での
 プログラムを組む。それぞれの個性が、
 まさに星のように煌めくことだろう。

文 = 真嶋雄大 (音楽評論家)

先般行われた「ピアニスト100」シリーズは、大好評の内にその幕を閉じた。10年で100人のピアニストを聴くという遠大なコンセプトもさることながら、登場したピアニストの水準が著しく高く、毎回必ず計り知れない感動を残していったからである。

その後継企画として2007年度に実施された「ピアノ・エトワール・シリーズ」には、ショパン国際ピアノ・コンクール覇者のラファウ・ブレハッチを初めとしてイリヤ・ラシュコフスキー、デイヴィッド・グレイルザンマー、そして小菅 優という綺羅星の如き気鋭の若手ピアニストたちがステージに立ち、シリーズの方向性に沿ったそれぞれの音楽を構築して著しい進境を示した。

それは同時に、突出した個性に出会う一期一会の機会であり、またピアニストの将来に時を重ねる垂涎の空間となって、頼むしい日常から心が開放されたものである。

嬉しいことに、そのシリーズが今年も予定されている。7月はコルネリア・ヘルマン、9月はアンドレイ・コロベイニコフ、12月は北村朋幹、そして来年2月にはロマン・デシャルムという、これまで聴かざる願ふ。

Vol.5 コルネリア・ヘルマン

[日時] 7月5日(土) 開演 14:00
 [会場] 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
 [曲目] J. S. バッハ ソナタ第2番 8短調 BWV826
 シューマン :アベック変奏曲 作品1 メンデルスゾーン:厳格な変奏曲 作品54
 ベートーヴェン:ロンド・ア・カプリッチョ ト長調 作品129「なくした小娘への怒り」
 武満 徹:アオー・アウェイ
 ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ短調 作品27-2「月光」
 [発売日] 1回券・4回セット券ともに好評発売中



美しく、誠実な時間を紡ぐコルネリア・ヘルマン

まずはコルネリア・ヘルマンである。彼女の父はドイツ人チェリスト、母親は日本人ヴァイオリニストである。ということもあって、日本語は至って堪能。かつてインタビューをさせていただいた折も、それは美しい日本語で対応してくれた。

そのコルネリアの音楽には押し付けがましいところが一切ない。本当に人の心にじっくりと染み入ってくる。それはどんな気持ちのとき耳にしても、ふと聴き込んでしまうような、瑞々しい潤いと温かさとしみじみとした慈愛に溢れている。心静かならざる時には安らぎを与え、心曇るときには気力を取り戻し、そして

PROFILE

音楽一家に生まれ、1996年最年少でJ. S. バッハ国際コンクール(ライブツピヒ)で最高位。99年、ザルトツブルク・モーツァルト国際コンクールで特別賞受賞。2001年にはヒルデガルト・マッシュマン財団から大賞(若い音楽家への奨学金)が贈られた。これまでにザルトツブルク・モーツァルトテウム管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団、NHK交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団などのオーケストラと、また、ノリントン、マリナー、スダーン、アルムシク、ポッセなどの指揮者と共演。

心失うときには新たな道を希うような、それほどに彼女の音楽は聴くものの胸にストレートに響いてくるのである。

7月のプログラムに予定されているのは、重厚なドイツものと日本の武満作品。まさにコルネリアを標榜する垂涎の構成であるが、彼女が日本で武満を弾くのはこの彩の国が初めてという。何と愉しみなことではないか。

彼女が一時も傍らから離さないドイツ音楽は、自身のメンタリティの証明でもある。バッハでは対位法の処理や明確な構成観による造形等並々ならぬ力量が期待されるし、シューマンでは作曲家の心象風景を外連味なく表現するに違いない。またメンデルスゾーンやベートーヴェンに対しても、粒立ちが良く気品に溢れた美音を駆使し、奇を衒うことなく潤沢な感性や閃き、さらに千紫万紅の色彩で高度な次元の音楽へと収斂するだろう。そしていずれの楽曲にも、瑞々しく清澄な生命感を湧き上がらせてくれるに違いないのである。

9月からは、男性エトワールたちの
 素晴らしい個性が競演

コルネリアばかりではない。9月のアンドレイ・コロベイニコフも期待大である。1986年生まれだからまだ20歳そこそこであるが、第3回スクリャーピン国際ピアノ・コンクール優勝、第2回ラフマニノフ国際ピアノ・コンクール第2位と実績は充分、2005年の横浜市招待国際ピアノ演奏会におけるスクリャーピンの鮮烈な演奏は、決して忘れることはできない。ドラマティックにして韻鬱たるロマンが零れるようだった。

続く北村朋幹はさらに若く、まだ弱冠16歳。しかしながら既に演奏は驚くほど成熟しており、その音色の美しさは抜き出ている。どんなに込み入った和音でも混濁することはなく、芳醇に響いて心を放さない。どれだけ速いパッセージや和声推移も、まるで人事のように常にクリアに彫琢されるのだ。そこから浮かび上がる音楽的センスこそまさに際立った個性であり、将来どれほど深化していくのか注目の存在だ。

そして今年度のトリはロマン・デシャルム。既に演奏家としてリサイタルやオーケストラとの共演など、着実にキャリアを築きつつある。2004年の横浜市招待国際ピアノ演奏会では、多彩でかつ珍しいプログラムで聴くものを圧倒したが、NHK「スーパー・ピアノ・レッスン」などにも出演していたから、ご記憶の方も多いと思う。

とまれ、登場ピアニストやそのプログラムにおいても並々ならぬ意欲が感じられる企画である。すべてに足を運び、旬のピアニストたちの“今”に触れてみたい。

Vol.6 アンドレイ・コロベイニコフ

[日時] 9月27日(土) 開演 14:00
 [会場] 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
 [曲目] ムソルグスキー:組曲《展覧会の絵》
 シューベルト:ピアノ・ソナタ第21番 変ホ長調 D960
 [1回券発売日] 一般:5月10日(土) メンバーズ:5月3日(土・日)



©Athena Video

PROFILE 1986年モスクワ近郊のドルゴポルドヌイ生まれ。2004年スクリャーピン国際ピアノコンクール(モスクワ)優勝。05年ラフマニノフ国際ピアノ・コンクール(ロサンゼルス)第2位及び聴衆賞。19歳でモスクワ音楽院を最優秀の成績で卒業し、現在、奨学金を得て英国王立音楽大学大学院で学ぶ。これまでに、ウィグモア・ホール、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭、ナントや東京でのラ・フォル・ジュルネなどに出演。12歳でモスクワのヨーロッパ法科大学に入学。03年に卒業、司法試験合格を果たす。また、エスプラントを話すなど異彩を放つ。

Vol.7 北村朋幹

[日時] 12月13日(土) 開演 14:00
 [会場] 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
 [曲目] J. S. バッハ(北村朋幹編曲):
 懐れみたま、わが神よ ((マイ受難曲)BWV244より 第39曲)
 羊は安らかに草をはみ ((カンタータ「楽しき狩こそが喜び」)BWV208より 第9曲)
 ショパン:ソナタ第1番 ト短調 作品23
 グリーク:《愛情小品集》より
 ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第13番 変ホ長調 作品27-1
 ドビュシー:2つのアラベスク
 シューマン:クラレズリアーナ 作品16
 [1回券発売日] 一般:7月5日(土) メンバーズ:6月28日(土)



PROFILE 1991年生まれ。2005年に東京音楽コンクールにて優勝及び全部共通の審査員大賞を受賞して注目を集める。06年、彩の国さいたま芸術劇場「ピアニスト100」シリーズに出演。2部構成の本格的なリサイタルではこれがデビューとなる。同年、浜松国際ピアノ・コンクールで第3位。07年には東京のラ・フォル・ジュルネや東京の夏音楽祭への出演、日本の主要オーケストラとの共演、NHK「びあひア」への出演など、活躍の場を広げている。現在、江口文子、大西真由子各氏に師事。

Vol.8 ロマン・デシャルム

[日時] 2009年2月7日(土) 開演 14:00
 [会場] 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
 [曲目] モーツァルト:ロンド・ソナタ第9番 長調 KV311
 モーツァルト:ピアノ・ソナタ第9番 長調 KV311
 プラームス:6つの小品 作品118
 ラヴェル:高雅で感傷的なワルツ
 フォレ:「指歌第1番」イ短調 作品826
 ラヴェル:ラ・ヴァルス
 [1回券発売日] 一般:9月27日(土) メンバーズ:9月20日(土)



PROFILE 1980年フランス・ナンシー生まれ。パリ国立高等音楽院でピアノ、室内楽、ピアノ伴奏法、声楽伴奏法の手づでのクラスをブルミエ・フリ(1等賞)を得て卒業。メイエル財団が作成した20世紀初期の作品を扱ったCDがブレーズの目に留まり、同氏からのアドバイスを受ける。2006年ダブリン国際ピアノ・コンクール優勝。07年ベルリニョール・コンクール優勝。また、NHK教育テレビ「スーパー・ピアノ・レッスン〜フランス音楽の光輝〜」にも出演している。初のCD「プラームス作品集」をロンドンのクラヴィオレ・レコードから発売。

ピアノ・エトワール・シリーズ チケット (税込)

- 4回セット券 S席セット12,000円/A席セット8,500円
 - 1回券 S席3,500円/A席2,500円/学生A席1,000円
- メンバーズ S席3,150円



N響 × 指揮者 **井上道義**
 ピアノ **小曾根 真**

「今この人でこの曲目が聴きたい!」というプログラムを実現したと誰もが思えるコンサート。昨年のショスタコーヴィチ・プロジェクトが大成功を納め、演奏するホールと楽曲の組合せに新しい提案をした井上道義。埼玉会館では、N響という優れたオーケストラを得て、どのような音を響かせるのかに期待がふくらむ。ピアニストとしてジャズ界で世界の頂点に立ちながら、その音楽性がクラシックにも花開き評価の高い小曾根 真をソリストに迎えたガーシュウィンは、言うまでもなく現在最高の組合せと言えるだろう。

文 = 奥田佳道 (音楽評論家)

楽の音を放射し、ステージでの立ち振舞いも「ダンスパル」で絵になる指揮者と、ジャンルをしなやかに飛翔するピアニスト、それに日本のリーディング・オーケストラが顔を揃えるライブが近づいてきた。しかも新感覚の20世紀名曲選。コミックやドラマでお馴染みになったジャズなピアノ・コンチェルトも披露される。一期一会のコンサートのために役者が顔を揃えた、と開演前から熱くなってしまっても構わないのではないかな。

古き良き時代のアメリカを「奏でる」コーブランドのバレエ音楽《ピリー・ザ・キッド》、おなじみガーシュウィンの《ラプソディー・イン・ブルー》、それにクラシック・ファンばかりでなく、あらゆるパフォーミング・アーツ好き、モダンアートに関心を寄せる向きを熱くする旧ソ連の作曲家ショスタコーヴィチの機知に富んだ《交響曲第9番》。思わず喝采を叫んだ方も多いのでは。

井上道義指揮のショスタコーヴィチへの期待



「日露友好ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクト2007」より

われた「日露友好ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクト2007」に全身全霊を傾け、サンクト・ペテルブルク交響楽団を含む5団体のオーケストラを指揮し、世代を超えた聴き手を大いにうならせたのが井上道義という指揮者である。世紀転換期を彩ったマーラーや北欧フィンランドのシベリウスにも旨味を発揮するいっぽう、オーケストラ・アンサンブル金沢の音楽監督として活躍中だが、今、ショスタコーヴィチといえば、やはりこの人で聴きたいというのが客席の想いだろう。ショスタコーヴィチの交響曲全15曲のなかで、第2次大戦終了時に書かれた第9番ほどリズムに弾み、しかもシニカルな笑いにあふれ、ソロやパートの妙技が楽しめる曲は、ほかにない。《第9》再発見のステージをどうぞお聴き逃しなく、井上道義とN響の交歓をどうぞお見逃しなく。

**小曾根 真で聴く
ラプソディー・イン・ブルーの贅沢**

楽の音と自在たおむに戯れる小曾根 真への賛辞は尽くされている。筆者が企画のお手伝いしている北九州国際音楽祭でもモーツァルトの《2台ピアノのための協奏曲》(2台ピアノ版)に腕を振るってくださった。以前にも沈没してモーツァルトとガーシュウィンの世界と相思相愛のMakoto OZONÉが、気心の知れた井上道義の指揮に導かれ十八番を披露するとは何とも喜ばしい。オーケストラも触発される予感。これだけでも楽しみ無尽蔵の夏のコンサートには、アメリカの「謡」と舞がこだまするコーブランドの佳曲も添えられた。開演まで、もう少しの我慢だ。

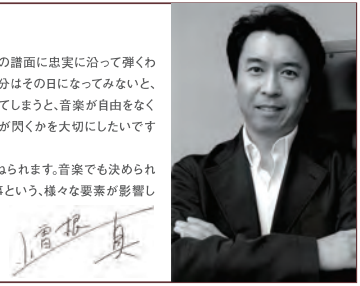
小曾根 真 Makoto OZONÉ

今回のN響では、ガーシュウィンの《ラプソディー・イン・ブルー》を弾きます。もちろん有名なこの曲の譜面に忠実に沿って弾くわけですが、途中カデンツァで僕のピアノが演奏を膨らましていく部分があります。実はこの部分はその日によってみないと、どうなるかわかりません(笑)。というのは、この部分は僕がどのように弾くか予め作画的に練ってしまおうと、音楽が自由でなくしてしまおうと。僕はこの曲が持つ世界観の中で、僕にその日どんなメッセージが降りてくるか、何が閃くかを大切にしたいです。そこは皆さんにも一緒に楽しんでいただければと願っています。

芝居も同じですが、脚本があり演出家がいる中で、幕が開けば役者自身がどう感じて動くのかに委ねられます。音楽でも決められたルールの中でどう演奏するかは、その日その瞬間まで演じる側が過ごしてきたことや起こった出来事により、様々な要素が影響しているんです。これがライブの醍醐味でしょう。

「いま、自分がここに出した音に真実がある」、僕はそう考えています。

※カデンツァ:協奏曲の楽章の終結部で、ソリストが即興演奏する部分。作品によっては、初めから作曲されている場合もある。



PROFILE

指揮 井上道義 (いのうえ みちよし)
 1946年生まれ、前期学園で斎藤秀雄氏に師事。1971年グイド・カンテリ指揮者コンクール優勝、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、京都市交響楽団音楽監督・常任指揮者を歴任。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督をならびに石川県立音楽堂アテスティック・アドバイザー、シカゴ響、ロイヤル・フィル、ミュンヘン・フィル、スカラ・フィル、レニングラード響、マルセル・ユエ劇場等にも客演。

ピアノ 小曾根 真 (おそね まこと)
 父、小曾根 実の影響でジャズに興味を持ち、独学で音楽を始める。1983年、ボストンのパークリー音楽大学ジャズ作曲・編曲科を首席で卒業。同年6月、カーネギー・ホールでソロ・ピアノ・リサイタルを開き、米CBSレーベルと日本人初の専属契約を結ぶ。ジャズの世界を越えた幅広い活動を展開しており、近年は、ガーシュウィンやモーツァルトの協奏曲など、クラシック音楽にも本格的に取り組んでいる。

NHK交響楽団
 1926年にプロ・オーケストラとして結成された新交響楽団が、日本交響楽団の名称を経て、51年NHK交響楽団と改称。今日に至るまで、カラヤン、ストラヴィンスキー、アンセルメ、マツチツなど、世界一流指揮者を次々と招聘し、歴史的な海外公演、国内での演奏会のほか、定期的な海外公演、セミ・ステージ・オペラなどの斬新な企画、委嘱作品の充実、メジャー・レーベルとのCD録音など、その活動と演奏は国際的にも高い評価を得ている。

●●●● MUSIC ●●●●

NHK交響楽団

【日時】 7月13日(日) 開演 14:00
 13:30~13:40に指揮者・井上道義氏によるプレコンサート・トークあり。
 【会場】 埼玉会館 大ホール
 【出演】 井上道義(指揮) 小曾根 真(ピアノ) NHK交響楽団(管弦楽)

【曲目】 コーブランド: 組曲《ピリー・ザ・キッド》
 ガーシュウィン: ラプソディー・イン・ブルー
 ショスタコーヴィチ: 交響曲第9番 変奏長調 作品70
 【チケット(税込)】 一般:S席6,500円/A席5,500円/B席4,500円/学生B席2,000円
 メンバース:S席8,550円/A席4,950円/B席4,050円
 【発売日】 一般:3月23日(日) メンバース:3月20日(木・祝)

「夏休みオーケストラランド!」、今年も開催!

オーケストラの魅力を存分に味わえるのは勿論、楽器や歌でオーケストラと一緒に「音楽する」楽しさを体験できるのが、なんといっても「夏休みオーケストラランド!」の醍醐味です。2006年の熊谷公演、2007年の埼玉公演と好評を博したこの企画。今年の熊谷公演も充実したプログラムになりました。定番の「指揮者にチャレンジ」や「みんなで歌おう＆演奏しよう」に加えて、今回はなんと「オーケストラを分解しちゃおう?!」コーナーが新登場。曲目は聴いてみてのお楽しみ、何の曲か当てられるでしょうか?...



また、今回のソリストは4月から中学生になるチェロの上野通明さん。以前、プロのオーケストラと共演してメンバーを驚嘆させたという彼が今回選んだのは、難曲のゴッパー作曲《ハンガリー狂詩曲》。どんな演奏を聞かせるのか、期待は高まります。そしてメインには、人気の高いドヴォルジャークの「新世界から」より第4楽章を。さあ、ご家族揃って、指揮者の飯森範親さんとナビゲーターの朝岡 聡さんの楽しい道案内で、オーケストラの国を旅してみませんか?

profile	飯森範親 (いもり のりちか)	朝岡 聡 (あさおか さとし)	東京交響楽団
<p>前期学園大学を卒業後、ベルリンに留学。バイエルン州立歌劇場では当時の芸術総監督、サウワグリンシュのもとで研鑽を積む。現在、東京交響楽団の正指揮者を務める他、山形交響楽団音楽監督、ウツリンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者など、幅広く活動している。 http://www.imori-noitchika.com/</p>	<p>慶應義塾大学卒業後、テレビ朝日に入社し、着信アナウンサーとなる。現在はフリーとして、テレビ朝日の司会、クラシックコンサートの企画・司会をつとめる。コンサート・ラジオとしても活躍中。著書に「音の楽園〜僕のリコーダー人生」(東京書籍)がある。</p>	<p>1946年に創立、51年に東京交響楽団に改称して今日に至る。現在、桂冠指揮者に秋山和郎、音楽監督にユベール・ダンタン、常任指揮者に大友直人、正指揮者に飯森範親を擁して、ミューザ川崎シンフォニーホールを拠点に活動している。 http://www.tokyo-symphony.com</p>	

家族向け音楽ワークショップの制作・広報スタッフ募集
 彩の国さいたま芸術劇場で11月8日(土)開催のワークショップ。応募事項等の詳細は財団ホームページをご覧ください。事務局音楽担当 048-858-5506 にお問い合わせください。4月18日(日)必着締切。
 ※詳細は財団ホームページ <http://www.sat.or.jp/>

前売りチケット発売情報 (～2008.5.17)

MUSIC 3才以上の子どもさんから楽しんでいただける公演です。

熊谷会館ファミリー・クラシック

夏休みオーケストラ!

チケット発売日
一般: **3月22日(土)**
メンバーズ: **3月15日(土)**

詳細はP.17にて



©加藤英弘

MUSIC 埼玉会館ランチャイム・コンサート

第4回 N響メンバーによる木管アンサンブル

お昼休みのひととき、楽しいお話を交えておくる名曲の数々。
今年のトップ・バッターは、N響メンバーです。

チケット発売日
一般: **3月23日(日)** メンバーズ: **3月20日(木・祝)**

日時= 6月16日(月) 開演12:10 (終演予定12:50)
会場= 埼玉会館 大ホール
出演= 神田寛明(フルード) 北島 章(オーボエ) 松本健司(クラリネット) 菅原恵子(ファゴット)
日高 剛(ホルン)
曲目= 「サウンド・オブ・ミュージック」メドレー ほか
料金= 全席指定1,000円



昨年のランチャイム・コンサートより

MUSIC

NHK交響楽団
井上道義(指揮)
小曾根 真(ピアノ)

チケット発売日
一般:
3月23日(日)
メンバーズ:
3月20日(木・祝)

詳細はP.16～17にて



©K.Miura

CINEMA 彩の国シネマスタジオ

『ミルコのひかり』

不慮の事故で両眼の視力を失ってしまった少年ミルコ。
音との出会いが、心を閉ざす彼に新しい世界をもたらしていく。

チケット発売日
一般・メンバーズ: **3月21日(金)**

日時= 5月9日(金) 12:45 / 16:00 / 19:00
10日(土) 10:00 / 12:45 / 16:00 / 19:00
11日(日) 10:00 / 12:45 / 16:00

※5/10(土) 12:45上映終了後、石子順氏によるアフタートークあり

会場= 彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール
監督・脚本= クリストファー・ボルトーネ

出演= ルカ・カプリオッティ

パオロ・サッサネリ

マルコ・コッチ ほか (2005年/イタリア/100分)

料金= 一般: 前売1,000円 / 当日1,200円

小中高生: 前売800円 / 当日1,000円



©Eduard Lock

PLAY 源氏物語千年紀特別企画

『源氏物語の誘惑』

チケット発売日
一般: **3月29日(土)** メンバーズ: **3月22日(土)**

詳細はP.8にて

PLAY

さいたまゴールド・シアター 第2回公演

チケット発売日
一般: **4月27日(日)** メンバーズ: **4月20日(日)**

日時= 6月中旬
演出= 蛸川幸雄

※詳細は決定次第、財団ホームページにてお知らせいたします。

PLAY 彩の国さいたま寄席 四季彩亭
～彩の国落語大賞受賞者の会 柳家三三

夏の四季彩亭は、19年度見事彩の国落語大賞を受賞した柳家三三が登場。

チケット発売日
一般: **4月12日(土)**
メンバーズ: **4月5日(土)**

日時= 7月5日(土) 開演16:00
会場= 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
出演= 柳家三三 ほか

料金= 一般: 3,000円

メンバーズ: 2,700円

ゆうゆう割引(学生・65才以上): 2,000円



©加藤英弘

DANCE ラ・ラ・ラ・ヒューマン・ステップス

『Amjad アムジャッド』

チケット発売日
一般: **4月12日(土)** メンバーズ: **4月5日(土)**

詳細はP.12～13にて



©Eduard Lock

CINEMA 彩の国シネマスタジオ

『歓喜の歌』

12月30日、1本の電話で判明した翌日のダブルピング!はたして大晦日の文化会館に「歓喜の歌」は鳴り響くのか?

チケット発売日
一般・メンバーズ: **4月11日(金)**

日時= 6月13日(金) 12:45 / 16:15 / 19:00
14日(土) 10:00 / 12:45 / 16:15 / 19:00
15日(日) 10:00 / 12:45 / 16:15

※6/15(日) 12:45上映終了後、田島良一氏によるアフタートークあり

会場= 彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール
監督= 松岡錠司

出演= 小林 薫 伊藤淳史 由紀さおり 浅田美代子 安田成美 ほか
(2008年/日本/130分)

料金= 一般: 前売1,000円 / 当日1,200円

小中高生: 前売800円 / 当日1,000円



MUSIC 児玉 桃 メシアン・プロジェクト2008

フランスの大作作曲家メシアンの生誕100年を記念して、
埼玉・横浜・東京で児玉 桃が繰り広げるプロジェクト始動!

チケット発売日
◆全5回シリーズ券・1回券(第1回)
一般: **4月26日(土)**

メンバーズ: **4月19日(土)**

《第1回》「レクチャー&コンサート/メシアンの世界への誘い」

日時= 9月13日(土) 開演14:00

会場= 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

出演= 児玉 桃(トーク&ピアノ)

野村多美(ナビゲーター)

茂木健一郎(ゲスト)

※第2回以降の日時・会場等の詳細は財団ホームページにて。

料金= 1回券(第1回): 全席指定2,000円

全5回シリーズ券: 18,000円



©Vincenti Garrier

PLAY

松竹大歌舞伎

市川段四郎を始め、昨年のNHK大河ドラマ「風林火山」の
武田信玄役も記憶に新しい市川亀治郎ほか出演。

チケット発売日
一般: **4月26日(土)**
メンバーズ: **4月23日(水)**

日時= 7月15日(火)
昼の部14:00

夜の部18:00

会場= 熊谷会館

出演= 市川段四郎

市川亀治郎 ほか

演目= 「操り三番叟」

「御目見得 口上」

「弁天娘女男白波」

浜松屋より勢揃いまで!

料金= 一般: 特等席6,000円

一等席2,000円

一等学生席1,000円

おためし席1,000円

メンバーズ: 特等席5,400円



©松竹

MUSIC

ピアノ・エトワール・シリーズ

Vol.6
アンドレイ・コロベニコフ

チケット発売日
一般: **5月10日(土)**
メンバーズ: **5月3日(土・祝)**

詳細はP.14～15にて



©Juliana Volok

PLAY

音楽劇『ガラスの仮面』

チケット発売日
一般: **5月17日(土)**

※メンバーズ優先予約は、4月中旬にお送りするプレオーダーシートをご利用ください。

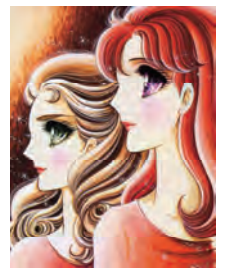


イラスト: 奥内すず / 白泉社

財団チケットセンター

048-858-5511 10:00 ~ 19:00 (休館日を除く)

ご注意及お願い事項 ●チケット発売初日の窓口での購入枚数、お電話でのご予約枚数を制限させていただく場合がございます。チケット発売初日の電話予約は1度のお電話で、1公演のみ制限させていただきます。また、チケット発売初日はお席のご案内はいたしておりません。あらかじめご了承ください。 ●チケットご予約後のキャンセル・変更・再発行は一切行っておりません。 ●チケット紛失の際は、チケットセンター(電話:048-858-5511)にお問い合わせください。

●窓口営業時間

彩の国さいたま芸術劇場 10:00 ~ 19:00 (休館日を除く)
埼玉会館 10:00 ~ 19:00 (休館日を除く) 熊谷会館 10:00 ~ 17:00 (休館日を除く)

●電話予約&販売

チケットの電話でのご予約は、財団チケットセンターにて承っております。
※埼玉会館、熊谷会館ではチケットの電話予約は行っておりません。

●インターネットでの販売期間

メンバーズ優先予約は初日の10時より、一般発売も初日10時より受付開始し、公演前日の19時に発売は終了いたします。

●窓口販売

各会場(彩の国さいたま芸術劇場、埼玉会館、熊谷会館)
チケット販売窓口にて、3会場のチケットをお買い求めいただけます。

WEB会員のご案内

ホームページ(<http://www.sai.or.jp/>)から、空席状況の検索、チケットの購入ができます。インターネットでのチケット購入にはネット会員(無料)の登録が必要です。

発売中全公演情報 (3.7～)

3才以上のお子さんから楽しんでいただける公演です。

PLAY

「しんごくまる」復活
「身毒丸」復活

日時＝3月7日(金)～4月10日(木) 全41公演
会場＝彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
出演＝藤原電也 白石加代子 ほか
料金＝一般：S 席9,000円
A 席7,000円
B 席5,000円
学生席2,000円
メンバーズ：S 席8,100円
A 席6,300円
B 席4,500円
※本公演の当日券はメンバーズ料金の適用が
ございませんのでご了承ください。



「身毒丸」ファイナル 2002年 © 西村裕

源氏語り五十四帖

第42回「橋姫」3月16日(日)
第43回「権本」5月18日(日)
第44回「総角」7月13日(日)
第45回「総角2」9月14日(日)
各回開演14:00
会場＝彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
料金＝全席指定 1回券：2,500円
第43～45回連続券：6,600円



© 浅野いずみ

彩の国さいたま寄席
四季彩亭 ～林家たい平

日時＝4月12日(土) 開演15:00 会場＝彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
出演＝林家たい平 三遊亭歌彦 三増れ紋
料金＝一般：3,000円 メンバーズ：2,700円 ゆうゆう割引(学生・65才以上)：2,000円



© 加藤英弘

さいたまゴールド・シアター
「Pro-cess 3」
「想い出の日本一萬年」

詳細はP.4～5にて



さいたまゴールド・シアター第1回公演 2007年6月 © 栗川豊子

DANCE

コンドルズ 埼玉スペシャル公演2008 「大いなる幻影」

詳細はP.10～11にて



© HARU

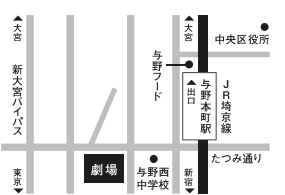
CINEMA

彩の国シネマスタジオ『めがね』(2007年/日本/106分)

日時＝4月11日(金) 13:00/16:00/19:00
12日(土) 10:00/13:00/16:00/19:00
13日(日) 10:00/13:00/16:00
※4/11(金)13:00上映回 音声ガイドあり
※4/13(日)13:00上映回終了後、石子順氏によるアフタートークあり
会場＝彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール
監督＝萩上直子
出演＝小林聡美 市川実日子 加瀬亮 光石研 もたいまさこ ほか
料金＝一般：前売1,000円/当日1,200円
小中高生：前売800円/当日1,000円

ACCESS MAP アクセスマップ

彩の国さいたま芸術劇場



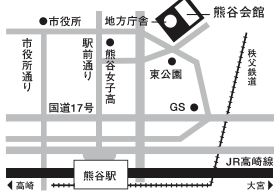
〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上郷3-15-1
電話：048-858-6500(代) ファックス：048-858-5515
電車でのアクセス JR 埼京線与野本町駅(西口)下車 徒歩7分
またし1(東乗り場)からバス
新館から徒歩27分、高野駅まで40分
大宮から徒歩27分、各駅停車まで6分(通勤快速は停車しません。)
駐車場 155台 最初の1時間無料 それ以降は300円/時間
※駐車台数に限りがあり、劇場周辺にも一般の駐車場はございません
ので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

埼玉会館



〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4
電話：048-829-2471(代) ファックス：048-829-2477
電車でのアクセス JR 埼京線浦和駅(西口)下車 徒歩6分
上野駅から各駅停車で27分 大宮駅から各駅停車で8分
駐車場 39台(うち車いす専用駐車台2台) 300円/時間 高さ2mまで
※無料駐車場あり、ただし、地方庁舎と合同の駐車場の為、催事によつては駐車できない場合もあります。
ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

熊谷会館



〒360-0031 埼玉県熊谷市末広3-9-2
電話：048-923-2535 ファックス：048-923-2536
電車でのアクセス JR 高崎線熊谷駅(北口)下車 徒歩15分
大宮駅から53分
※無料駐車場あり、ただし、地方庁舎と合同の駐車場の為、催事によつては駐車できない場合もあります。
ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

MUSIC

バッハ・コレギウム・ジャパン バッハ《マタイ受難曲》

日時＝3月20日(木・祝) 開演15:00
会場＝彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
出演＝鈴木雅明(指揮)
エヴァンゲリスト(テノール)・ヤン・コボウ
イエス(バス)・マルクス・フライク
ハナ・ブラシコヴァ、藤崎美苗(ソプラノ)
タミアン・ギヨム、上杉清仁(アルト)
バク・スンヒ(テノール) ドミニク・ヴェルナー(バス)
バッハ・コレギウム・ジャパン(合唱・管弦楽)
※予定枚数終了いたしました。



© Marco Borggreve

熊谷会館ファミリー・クラシック 仲道郁代 ピアノものがたり

日時＝3月22日(土) 開演15:00 会場＝熊谷会館
曲目＝ベートーヴェン：エリーゼのために
田中カレン：(星のどうぶつたち)より
ショパン：幻想即興曲 ほか
料金＝大人3,000円 子ども(3才以上高校生以下)2,000円
親子セット券(大人1枚+子ども1枚)4,500円



2006年9月 埼玉会館の公演より © 加藤英弘

諏訪内晶子 ヴァイオリン・リサイタル

日時＝4月6日(日) 開演17:00 会場＝彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
※曲目は下記のとおり決定いたしました。
モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ 変ロ長調 KV454
ドビュッシー：ヴァイオリン・ソナタ
ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ第2番 変イ長調 Op.100
ヴァイオリン・ソナタ第3番 3重奏 Op.108
(なお、当初予定していた R.シュトラウス：ヴァイオリン・ソナタはドビュッシーに変更となりましたので、ご了承ください。)
※予定枚数終了いたしました。



© Universal Music Photo Shintaro Shiratori

ブルーノ＝レオナルド・ゲルバー ピアノ・リサイタル

日時＝5月11日(日) 開演15:00 会場＝彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲目＝ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第8番 八重調 作品13「悲愴」
ピアノ・ソナタ第21番 ハ長調 作品53「ワルシュタイン」
ピアノ・ソナタ第17番 二重調 作品31-2「テンペスト」
ピアノ・ソナタ第23番 短調 作品57「熱情」
料金＝一般：S 席5,000円/A 席4,000円/学生A 席2,000円
メンバーズ：S 席4,500円/A 席3,600円

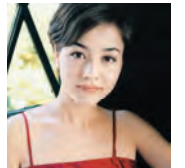


バッハ・コレギウム・ジャパン
バッハ《ブランデンブルク協奏曲》全曲演奏会

日時＝6月14日(土) 開演17:00 会場＝彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
出演＝鈴木雅明(指揮・チェンバロ) バッハ・コレギウム・ジャパン(管弦楽)
料金＝一般：S 席6,500円/A 席5,000円/学生A 席2,000円
メンバーズ：S 席5,850円/A 席4,500円

ピアノ・エトワール・シリーズ
Vol.5 コルネリア・ヘルマン

※4回セット券 (Vol.5～Vol.8)も
発売しております
詳細はP.14～15にて



公演詳細は、財団ホームページ
<http://www.saf.or.jp/>にて

さいたまゴールド・シアター本紹介

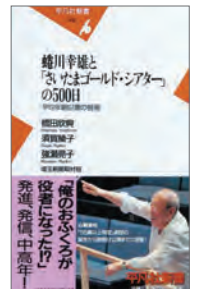
「さいたまゴールド・シアター」のこれまでの活動が
1冊の本になりました!

「この本は、二〇〇六年春のさいたまゴールド・シアター発足から、二〇〇七年夏、「船上のピクニック」での旗揚げ公演、そして九月の活動再開までの日々を、現場の記者たちがつづった高齢者劇団成長の記録である。」(あとがきより)

共同通信社と埼玉新聞社の記者たちが、長期にわたり丹念に取材した感動のドキュメント。蛭川幸雄とさいたまゴールド・シアター団員の演劇、そして人生に賭ける熱い想いと、彩の国さいたま芸術劇場を舞台にした様々なドラマが描かれています。「老い」と向き合い「人生」を見つめ直す、そこには新たな可能性が見えてきます。多くの皆様にお読みいただきたい一冊です。

【著者】平凡社新書「蛭川幸雄と「さいたまゴールド・シアター」の500日 平均年齢67歳の挑戦」

【著者】横田欣幸 須賀綾子 強瀬亮子 【出版社】平凡社 【料金】735円(税込)



彩の国さいたま芸術劇場窓口でもお求めいただけます。

EVENT CALENDER

2008.3.15-2008.5.31

3 March	
15 土	PLAY 「身毒丸」復活 開演 13:30 / 18:00 ※詳細は P.20 にて
16 日	PLAY 「身毒丸」復活 開演 13:30 PLAY 源氏語り五十四帖 第 42 回「橋姫」 開演 14:00 ※詳細は P.20 にて
17 月	臨時休館日 (彩の国さいたま芸術劇場)
18 火	PLAY 「身毒丸」復活 開演 19:00
19 水	PLAY 「身毒丸」復活 開演 14:30 / 19:00
20 木	PLAY 「身毒丸」復活 開演 14:30 MUSIC パッハ・コレギウム・ジャパン パッハ《マイ受難曲》 開演 15:00 ※詳細は P.21 にて ※予定枚数終了いたしました
21 金	PLAY 「身毒丸」復活 開演 19:00
22 土	PLAY 「身毒丸」復活 開演 13:30 / 18:00 MUSIC 熊谷会館ファミリー・クラシック 仲道都代 ピアノものがたり 開演 15:00 会場 = 熊谷会館 ※詳細は P.21 にて
23 日	PLAY 「身毒丸」復活 開演 13:30
24 月	
25 火	PLAY 「身毒丸」復活 開演 19:00
26 水	PLAY 「身毒丸」復活 開演 14:30 / 19:00
27 木	PLAY 「身毒丸」復活 開演 14:30 PLAY さいたまホール・シアター「Pro-cess3」「想い出の日本一万年」 開演 19:00 ※詳細は P.4 ~ 5 にて
28 金	PLAY 「身毒丸」復活 開演 19:00 PLAY さいたまホール・シアター「Pro-cess3」「想い出の日本一万年」 開演 19:00
29 土	PLAY さいたまホール・シアター「Pro-cess3」「想い出の日本一万年」 開演 13:30 / 18:00 MUSIC 「光の庭プロムナード・コンサート」J.S. バッハ〜その作品と情懷 開演 14:00 ※入場無料 会場 = 彩の国さいたま芸術劇場 情報プラザ 出演 = 吉田 恵 (オルガン) 高橋節子 (ソプラノ) 曲目 = J.S. バッハ「カンタタ第47番より」アリア「まことのキリスト君をを愛らんとする人」ほか
30 日	PLAY さいたまホール・シアター「Pro-cess3」「想い出の日本一万年」 開演 13:00 PLAY 「身毒丸」復活 開演 13:30
31 月	
4 April	
1 火	PLAY 「身毒丸」復活 開演 19:00
2 水	PLAY 「身毒丸」復活 開演 14:30 / 19:00
3 木	PLAY 「身毒丸」復活 開演 14:30
4 金	PLAY 「身毒丸」復活 開演 19:00
5 土	PLAY 「身毒丸」復活 開演 13:30 / 18:00
6 日	PLAY 「身毒丸」復活 開演 13:30 MUSIC 諏訪内晶子 ヴァイオリン・リサイタル 開演 17:00 ※詳細は P.21 にて ※予定枚数終了いたしました
7 月	臨時休館日 (彩の国さいたま芸術劇場)
8 火	PLAY 「身毒丸」復活 開演 14:30 / 19:00
9 水	PLAY 「身毒丸」復活 開演 14:30 / 19:00
10 木	PLAY 「身毒丸」復活 開演 14:30
11 金	CINEMA 彩の国シネマスタジオ「めがね」 上映時間 13:00 / 16:00 / 19:00 ※詳細は P.20 にて ※13:00 上映開始後、石子順氏によるアフタートークあり
12 土	CINEMA 彩の国シネマスタジオ「めがね」 上映時間 10:00 / 13:00 / 16:00 / 19:00 PLAY 彩の国さいたま客席 四季彩亭〜林家たい平 開演 15:00 ※詳細は P.20 にて

13 日	CINEMA 彩の国シネマスタジオ「めがね」 上映時間 10:00 / 13:00 / 16:00 ※13:00 上映開始後、石子順氏によるアフタートークあり
14 月	臨時休館日 (彩の国さいたま芸術劇場)
15 火	
16 水	
17 木	
18 金	
19 土	MUSIC 光の庭プロムナード・コンサート 〜今日は主役〜 開演 14:00 会場 = 彩の国さいたま芸術劇場 情報プラザ 出演 = 古賀智子 (オルガン) 二宮珠子 (ヴィオラ) 曲目 = J.S. バッハ「ヴァイオリン・ソナタ第101番」 第1楽章 ト長調 BWV11027 ほか ※入場無料
20 日	
21 月	臨時休館日 (彩の国さいたま芸術劇場)
22 火	
23 水	
24 木	
25 金	
26 土	
27 日	
28 月	
29 火	
30 水	
5 May	
1 木	
2 金	
3 土	
4 日	
5 月	
6 火	
7 水	
8 木	
9 金	CINEMA 彩の国シネマスタジオ「ミルコのひかり」 上映時間 12:45 / 16:00 / 19:00 ※詳細は P.19 にて
10 土	CINEMA 彩の国シネマスタジオ「ミルコのひかり」 上映時間 10:00 / 12:45 / 16:00 / 19:00 ※12:45 上映開始後、石子順氏によるアフタートークあり
11 日	CINEMA 彩の国シネマスタジオ「ミルコのひかり」 上映時間 10:00 / 12:45 / 16:00 MUSIC ブルーノ = レオナルド・ゲルバー ピアノ・リサイタル 開演 15:00 ※詳細は P.21 にて
12 月	臨時休館日 (彩の国さいたま芸術劇場)
13 火	
14 水	
15 木	
16 金	
17 土	MUSIC 光の庭プロムナード・コンサート 開演 14:00 会場 = 彩の国さいたま芸術劇場 情報プラザ 出演 = 松本崇英 (オルガン) 本村隆志 (フルート) 曲目 = F. クラウプラン：至聖のコンチェルト第4番 未収録 ほか ※入場無料
18 日	DANCE コンドルス 埼玉スペシャル公演 2008「大いなる幻影」 開演 14:00 / 19:00 ※詳細は P.19 にて PLAY 源氏語り五十四帖 第 43 回「権本」 開演 14:00 ※詳細は P.20 にて
19 月	DANCE コンドルス 埼玉スペシャル公演 2008「大いなる幻影」 開演 16:00
20 火	
21 水	
22 木	
23 金	
24 土	
25 日	
26 月	臨時休館日 (彩の国さいたま芸術劇場)
27 火	
28 水	
29 木	
30 金	
31 土	TALK 蛸川幸雄公開対談シリーズ NINAGAWA 千の目 第 14 回 天児牛大×蛸川幸雄 開演 13:00 ※詳細は P.23 にて

3才以上のお子さんから観していただける公演です。光の庭プロムナード・コンサートには年齢制限はありません。

information インフォメーション

みんなのオルガン講座 受講生募集!!

講師：大塚直哉 (東京藝術大学・神戸松蔭女子学院大学非常勤講師)

皆さんは「ポジティブ・オルガン」をご存じですか? 小型ですが、れっきとしたパイプオルガンです。彩の国さいたま芸術劇場では、このポジティブ・オルガンを使用した「みんなのオルガン講座」を、平成20年度も開講いたします。



今回は、オルガンのしくみや歴史を詳しく知ることができるレクチャーと、基本コースを開講。いずれも講師の大塚直哉氏がわかりやすく、丁寧に解説・指導します。「オルガンのことを知りたい」「オルガンを弾いてみたい」という方は奮ってご参加ください!

レクチャー (定員各回20名)

【日時】4月29日(火・祝)

- A: はじめて知るパイプオルガン 11:00 ~ 12:30
- B: パイプオルガンの旅 ~17世紀オランダ館~ 14:00 ~ 15:30

【受講料】各回 500 円 【申込締切】3月31日(月) 消印有効 ※応募者多数の場合、抽選。

基本コース (ソロ・クラス 定員10名程度、3人で1時間程度のグループ・レッスン)

■オルガン・レクチャー 4月29日(火・祝) 原則として上記A

■レッスン 6月8日(日)・8月3日(日)・10月13日(月・祝)

■発表会 11月3日(月・祝)

※自主練習日・受講にあたっての条件など詳細についてはお問い合わせください。

【受講料】6,500 円、テキスト代 (3,000 円) 別 ※受講中途辞退、欠席等での返金はいたしません。

【申込締切】3月24日(月) 消印有効 ※応募者多数の場合、抽選。

【応募方法】

- ①ご希望の講座 (レクチャーの場合はAまたはB) ②郵便番号 ③住所 ④氏名 (ふりがな) ⑤年齢 ⑥電話番号
- ⑦FAX番号 ⑧メールアドレスと、基本コース希望者は⑨音楽歴 ⑩オルガン演奏経験の有無もご記入の上、〒338-8506 さいたま市中央区上峰3-15-1 財団法人埼玉県芸術文化振興財団 事業部「みんなのオルガン講座」係までお申し込みください。詳細については、TEL 048-858-5506 までお問い合わせください。

information インフォメーション

蛸川幸雄公開対談シリーズ NINAGAWA 千の目 第 14 回

【日時】5月31日(土) 開演 13:00 (約1時間)

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

【定員】150名 (入場無料・要申込)

演出家 蛸川幸雄



天児牛大

天児牛大 (あまがつうしお)

山海楽主宰・振付家・演出家。1949年生まれ。75年に舞踏グループ山海楽を創設。80年より海外ツアーを開始し、世界43か国にて公演を重ねる。オペラの演出も手がけ「青ひびきの城」(97年・東京)、ペーター・エルクマン作曲の傑作オペラ「三人姉妹」(98年・リヨン)、そして今年3月には「夏祭日記」をモチーフとした石原の最新オペラ「Lady SARASHI-NIA」をリヨン国立劇場にて演出。また今年5月、パリ市立劇場との共同プロデュースにより山海楽の新作を発表する。 www.sankajuku.com

【申し込み方法】

ハガキに以下の事項を記入の上、締切日までにご応募ください。(応募多数の場合は、抽選を行います。この場合、入場券の発送をもって抽選結果の発表にさせていただきます。)なお、財団メンバーの方への優先枠を設けております。

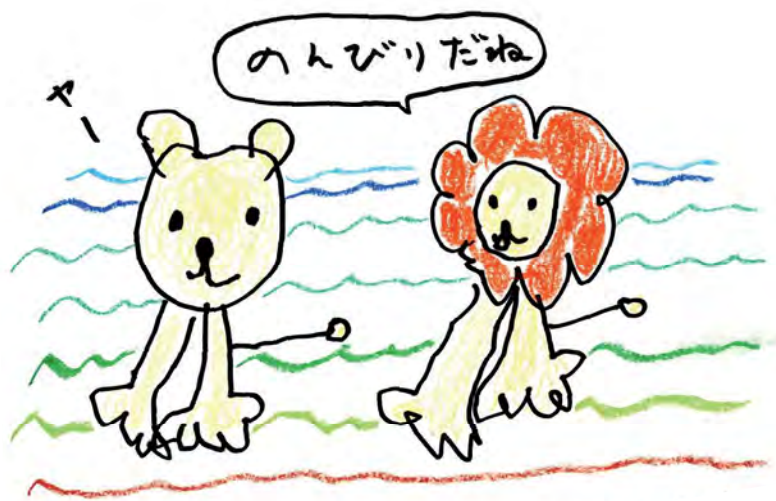
- 記入事項
 - ①郵便番号・住所 ②氏名 (フリガナ) ③年齢
 - ④会員番号 (財団メンバーの方)
 - ⑤希望人数 (1枚のハガキで2名様まで)
- 応募締切 4月30日(水) 当日消印有効
- 応募先 〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1 (財)埼玉県芸術文化振興財団「千の目」5/31 入場券係係
- 問合せ先 財団事務局 tel.048-858-5507

サポーター会員 H20.2.1 現在

(株)与野フードセンター/(株)亀屋/武州ガス(株)/(株)エフテック/(株)松本商会/(有)香山壽夫建築研究所/埼玉新聞社/(株)テレビ埼玉ミュージック 金井大道員(株)/埼玉りそな銀行/(株)パンフィックアートセンター/アサヒ印刷(株)/FM NACK5/東京電力(株)埼玉支店/東京ガス(株)埼玉支店 埼玉県信用農業協同組合連合会/カヤバシステム マンリヤ(株)/(株)八木橋/(株)タムロ/(株)オマダム/(株)十万石ふくさや/森舞舞台機構(株) 日本データコム(株)/(株)ビルマン 東芝リテック(株)/埼玉トヨタ自動車(株)/リズム時計工業(株)/(有)齋賀設計工務/クレディアグリコ アセットマネジメント(株) ソシエテジェネラルアセットマネジメント(株)/ゲレツ・ジャパン・スズゼン(株)/(株)武蔵野銀行/浦和ロイヤルパインズホテル/(株)アルビーノ 国際照明(株)/(株)松永建設/(株)サイサン 会長 川本直彦/三国コカ・コーラボトリング(株)/あいおい損害保険(株)埼玉営業部/(株)ショーモン 埼玉スバル自動車(株)/(株)木下フレンド/(株)東玉/橋本興業(株)/(株)佐伯紙工所/(株)太陽商工/(株)しまむら/アイジャパン(株) (株)ウム・ヴェルト・ジャパン/(有)六社ゴルフセンター/(株)オリエント/不動開発(株)/(株)明成/ホッカイエムアイシー(株)/埼玉県信用金庫 (有)武蔵興産(株)栗原運輸/(株)エゴ計画/彩の国SPグループ/(有)プラネット/(株)イヤホンガイド/トキタ種園(株) 関東自動車(株) 日本ピストンリング(株)/(株)クマクラ/(株)デサン/亀井産業(株)/(株)グリーン企画社/(有)高信/(有)中島運輸/(株)国際ビジネス研究所 セントラル自動車技研(株)/(株)Liviko/(株)アズマン/太平洋セメント(株)/(株)ビー・アンド・イー・ディレクションズ/朝日新聞 伸光堂さいたま販売(株) 丸美屋食品工業(株)/マツヤハウジング(株)/日立キャピタル(株)/ボラスグループ/伊田テクノス(株)/(株)リノン/ひがし歯科/埼玉建興(株) (株)日産サティオ埼玉/埼玉トヨペット株式会社/(株)あいおい保険総合サービス/公認会計士 宮原敏夫事務所/(株)価値総合研究所 (株)埼玉交通/(株)アライヘルメット/西武文理大学/(株)東和銀行/医療法人 顕正会 蓮田病院/(株)協同商事コエドパルワリー (株)ウイズネット/サイデン化学(株)/アイル・コーポレーション(株)/三光ソラン(株)

【サポーター会員】入会のご案内 埼玉県芸術文化振興財団では、財団の活動を支援していただける法人、団体又は個人の方を対象にサポーター会員の募集を行っています。【入会による特典】・劇場内サポーターボードへの会員名掲載 ・「埼玉アーツセンター」やホームページへの会員名掲載 ・劇場内広報用パンフレットの利用 ・財団主催公演へのご招待 ほか 【年会費】1口10万円(有効期限は、入会月から1年間となります) 【事務局(問い合わせ先)】(財)埼玉県芸術文化振興財団 営業宣伝課 サポーター会員担当 TEL 048-858-5500 (代)

ダンスをしているおかげで本当に色んな人たちに会える。そしてたまたま「体操」の名のつく仕事をしているせいが体操のお兄さんとも思われている。さらに子どもがいるためか「男の子育て」の取材も多い。不思議である。といって僕が子育てに熱心だったり上手な訳ではない。つい先日はずいぶん前からよく動かしているのに娘を頭上にあげたとたん「背中のぎゅぐり」みたいになってしまった。情け



Artist Diary 喜怒哀楽の日々 2月7日木曜日 文=近藤良平 イラスト=近藤良平・ニナ

ない現実である。今、家族の中で一番足の速いのは2匹の犬達で、次に子どもが僕か?という所である。これではコズいのだ。そして娘に絵を描かせれば「むむむ」と唸る程、シニールで活かした絵になる。見方を変えれば子どもは好き勝手に自由な訳だが、僕らもそのはずである。そして日々がんばらねばと思うのです。

話は変わるが今「喜怒哀楽」というコトバが気になる。「喜、怒、哀」の感情はいやおうなしに突然、訪れるのだが「楽」だけは、どうも能動的なのだ。「楽」は、向こう側からは訪れないのである。僕は意外と舞台を創ったりビールを飲んだり「楽しむ」のは得意な方なのだが、みんなはどうなんだろう。何が「ステキな生活」なのだろうか。まあ、これは僕の中で大発見なので今年の5月の埼玉公演まで、その真意を追い求めようと思っている。たった今は春が待ち遠しい。やはり日本において一年の始まりは「春」なのだ。景観は、もずろん春なのだが、いっしょになっても、そー！新入生の気持ちです。

